

## 「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2022年 12月 15日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション				
②測定ツール名	進路マップ 実力診断テスト				
③主な対象者	四年制大学・短期大学・専門学校を含む各種の学校への進学から就職まで幅広い進路を目指す高校1年生・2年生・3年生向け				
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ
	○	○	○		
					○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	<p><b>【目的】</b>          高校履修範囲を中心（1年6月回は義務教育範囲含む）に基礎学力の定着度・学習習慣の状況を定期的に測定することで、学校としての指導改善、生徒の学習改善・基礎学力向上・学習意欲の向上に役立ててもらうことを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b>          ・「記述式」問題により、義務教育範囲から高校履修範囲までの基礎学力の定着度をそれぞれの学校の進度に合わせて（回ごとの進度対応）、より客観的に測定することができます。回ごとに生徒用事前教材が準備されているので、生徒一人ひとりが意欲的に事前学習に取り組める仕組みになっています。          ・生徒個人向けに、基礎学力の到達状況を全体としての学力測定指標「学習到達ゾーン(GTZ)」や「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」別の結果として提供すると共に、学習アドバイスを提供することで、受検結果を次の学習改善につなげます。          ・学校へは学年集団の特性がわかる概況データ及びクラス担任・教科担任先生用に学習状況を踏まえた情報を提供することで、指導改善や生徒への声かけの材料として活用いただけます。          ・1年生から3年生まで各学年3回構成となっており、選択問題も含まれますので、学校の進度により合った実施が可能です。国語・数学・英語の教科問題50分間×3教科に加えて、学校採点の英語スピーキング問題5分間、アンケート30分間の構成です。          ・生徒の学力だけでなく、高校での多様な取り組みおよび大切にしている意識等が進学先での学びとつなげて考えられる診断（以下、志望校等に関する診断）を出しています。</p>				
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	<p><b>【特長】</b>          ・診断結果は「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の観点で評価し、テストと合わせて学習力（教科学習面・生活面・進路面）に関するアンケートがあり、学力と学習力（学習状況）の両面から、生徒向けにアドバイスコメントを返却します。          ・結果を振り返る中で「振り返り問題」を提示し、事後の学習行動を具体的にアドバイスします。          ・志望校等に関する診断を出すことにより学力だけではなく観点での進路選び方や進路へのこだわりといった意識面を醸成します。          ・志望校等に関する診断は学校の希望により、商品お申し込み時に非表示を選択することが可能です。※資料7</p> <p><b>【活用例】</b>          1年6月に実施し、入学後1学期段階での「基礎学力」と「学習力」の初期把握を行い、その結果を学年の指導計画に反映します。また、個人票を元にしたクラス担任先生の個別面談により生徒一人ひとりの状況把握ができます。1年9月に2回めを、1年1月に3回めを受検することで、4月からの学力の推移と学習力の変容を定期的に測定・把握し、指導改善のPDCAサイクルを回し、次学年の指導計画立案につなげます。</p>				
⑧実施期間、年間実施回数	<p><b>【実施期間】</b> 実施時期は、1年6月・1年10月・1年1月、2年6月・2年10月・2年1月、3年4月、3年6月・3年9月の計9回。          2年10月より「基礎・活用」、3年4月より「理科」「地歴・公民」が付きまます。</p>				
⑨実施方式 (CBT/PBT)	PBTのみ				
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語		
	各学年回 記述式問題：50分	各学年回 記述式問題：50分	各学年回 記述式問題：50分（リスニング・リーディング・ライティング） 学校採点のスピーキング問題：5分		
⑪受検料	1年6月～2年6月まで：1,900円 2年10月以降：2,200円※すべて消費税等込				
⑫標準返却期間	答案到着後約4週間で返却。				
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	<a href="https://bhso.benesse.ne.jp">https://bhso.benesse.ne.jp</a>				